

この要項がスタイル見本になっています。

# エレクトロニクス実装学会講演大会 発表論文原稿執筆要項

## 英文タイトル

回路太郎<sup>†</sup> 実装三郎<sup>††</sup>

<sup>†</sup>実装回路工業(株)技術開発本部

<sup>††</sup>電子産業(株)実装研究所第2研究室

### 1.はじめに

講演論文集はミスプリント防止のため、著者の原稿をそのままA4判の大ききでオフセット印刷します。この執筆要項をよくお読みの上、原稿を作成して下さい。この要項自体が原稿の体裁サンプルとなっています。

### 2.原稿

原稿はA4判を用いてWORD等で作成して、WORDファイルあるいはPDFファイルにて提出して下さい。原稿は、図面や写真を含めて1件=2頁です。予稿は白黒印刷で、写真を含めてのカラー印刷は行いません。また、CD-ROMに収録し予稿に添付します。以下は原稿執筆要項です。

#### 2.1 スタイル

ページのスタイルは、左右の空き各20mm、上部空き20mm、下部の空き25mmと設定し、内部領域に原稿が収まるようにして下さい。

第1頁は表題、著者名、所属等を記述する額表部分と本文から成り、本文は第2頁へと続きます。第2頁の最終部分に論文内容に関する連絡先を記入して下さい。第1頁の額表領域には高さ45mmの部分を確保して下さい。この下から本文領域です。本文は左右2段組とし、段間は8mm程度にして下さい。第1頁目の本文領域は高さ約205mm、第2頁は高さ約250mmが本文領域（連絡先を含む）となります。

#### 2.2 額表

第1頁目の額表欄には、表題、著者名および所属を書いて下さい。表題は大きめの文字を使って下さい。このサンプルは14ポイントです。著者名等は10ポイントです。大きいフォントがないときは太字のフォント使用をお勧めします。

#### 2.3 本文

額表欄の下からが本文領域です。このサンプルの文字の大ききは9ポイントで、1段1行に27文字書いています。行間を2mmにとると第1頁は42行、第2頁は52行となり、約5000字余の分量となります。

#### 2.4 図および表

原稿用紙の該当箇所に挿入して作成して下さい。もし、既成のものを張り込んで作成する場合は、完成した原稿をスキャニングしてからPDFファイルを作成して、提出して下さい。

### 2.5 写真

写真も含めてカラー印刷は行いません。写真も図表類と同様に処理して下さい。

### 2.6.論文に関する連絡先

講演大会後に、論文内容に関する問い合わせが容易にできるように、2頁目の最後に連絡先として講演者名、所属先、住所、電話およびFAX番号、電子メールアドレス等を記入して下さい。

### 3.使用言語

原稿は原則として日本語を使用して下さい(英語も可)。講演発表は、原則として日本語ですが、英語で発表することもできます。

### 4.原稿提出締切および送付先

原稿の受付期間は下記の通りです。受付期間が過ぎますと、アクセス先のデータベースが閉じられてしまってアクセスできなくなりますので、期間を厳守して下さい。

原稿の送付は、学会のホームページにアクセス先を掲載しますので、そちらからアクセスしていただき、指示に従って原稿ファイルをアップロードして下さい。その際、講演申込時のサブミッションIDとメールアドレスが必要になりますので、ご注意ください。

サブミッションIDを忘れられた方は、事務局までお知らせください。

第22回講演大会申込受付期間(WEB登録)

2007年10月15日～2007年12月2日

論文原稿提出締切：2008年2月3日

講演申込受付期間中は、発表申込みと

論文提出を同時にWEB登録できます。

学会ホームページ：<http://www.e-jisso.jp/>

問い合わせ先：

〒167-0042

東京都杉並区西荻北3-12-2

(社)エレクトロニクス実装学会

大会実行委員会

Te1:03-5310-2010 Fax:03-5310-2011

